○鶴保庸介内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）「北方領土隣接地域の魅力を発信するシンポジウム」出席（平成29年6月17日～18日）

鶴保庸介内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）が「北方領土隣接地域の魅力を発信するシンポジウム」出席のため、根室管内を訪問しました。

[　シンポジウムでの発言の様子（ニ・ホ・ロ）　]

鶴保庸介内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）は、6月17日（土）に5月に実施された北方領土隣接地域発見ツアー（ファムトリップ※）の訪問施設を視察しました。

※ファムトリップ：観光地などの誘客促進のため、旅行事業者を対象に現地視察をしてもらうツアー

6月18日（日）は「北方領土隣接地域の魅力を発信するシンポジウム」に出席しました。シンポジウムの中で大臣は、「この地域には、沢山の観光の種がある。この種を活かし、発信していくのは、道を含め行政、 国、公的機関だけでは不可能であり、地域の方々の力が必要である。」と述べられました。

【各施設視察の様子】

[　野付半島ネイチャーセンター（別海町）で国後島を望む　]

[　標津サーモン科学館（標津町）でチョウザメなどを視察　]

[　羅臼国後展望塔（羅臼町）で元島民等から歓迎を受ける　]

[　昆布倉庫（羅臼町）で昆布のヒレ刈り体験　]

[　根室市歴史と自然の資料館（根室市）で日本とロシアの国境標石などを視察　]

[　べつかい乳業興社（別海町）で乳製品づくりの様子を視察　]